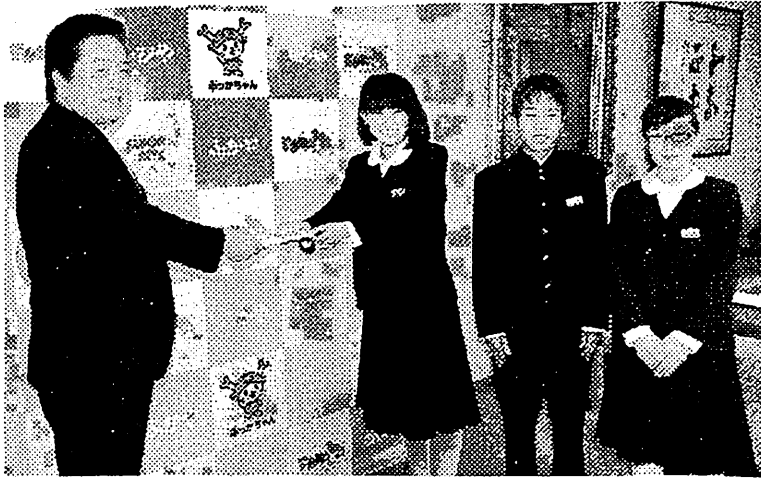




5/8 (日)
埼玉

ペットボトルの キャップで寄付

深谷・岡部中が市に

ペットボトルのキャップを回収して売却した収益金を障害児に役立ててもらおうと、深谷市立岡部中学校の生徒会役員3人が、回収に取り組ん

.....
小島進市長(左)に目録を渡す岡部中生徒会の(左から)小林愛里会長、坂田直哉副会長、吉田智咲副会長。深谷市役所

だ市内81団体を代表して1万8770円を深谷市に寄贈した。

ペットボトルのキャップは、市内25小中学校のほか、大学や公共施設、事業者など計81団体が協力して収集。1年間で約37万5400キのキャップが集まり、同市社会福祉協議会が業者に売却した。収益金の半分を、障害児のために使う市の「ふつかちゃん子ども福祉基金」に寄贈。残

りの半分は、市内の小中学校で使う竹ぼうきやソフトバレーボールの費用とする。

岡部中学校は生徒会が中心となり、福祉委員を通して全校生徒に協力を呼び掛けた。ほぼ全員の生徒が収集に参加し、市内の団体の中で最多となる5800キを集めた。生徒会長の小林愛里さん(14)は「生徒が協力して成し遂げたことはすごい。参加率も98%を超え、誰かのためにすることができたことは誇り」と話していた。
(村田恭二)